



# アドベンチャーツーリズムに関する環境省の施策

2024年6月18日

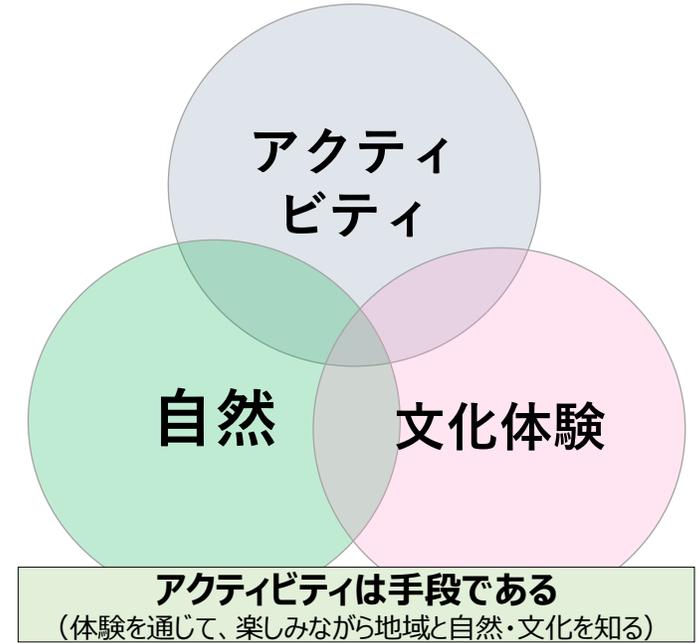
環境省 自然環境局 国立公園利用推進室



- アドベンチャートラベル(AT)とは「**アクティビティ、自然、文化体験**の3要素のうち、2つ以上で構成される旅行」をいう。
- 「生き方に変化を与える旅」として、欧米やオーストラリア、特に富裕層の人気の高まっている。
- ①いままでにないユニーク（特別）な体験、②チャレンジ（挑戦）である、③心身ともに健康になる、④自然環境・文化への影響を小さくする、⑤体験を通じて自己の価値観に変化をもたらす、といった5つの要素※が重視されている。  
※①Uniqueness、②Challenge、③Wellness、④Impact、⑤Transformation
- ATの市場規模は世界でおよそ**年間70兆円**(ATTA試算)に及ぶとされ、一人当たりの消費額、地域への経済効果が通常の旅行者に比べて非常に高い。  
※1万USドルの経済効果を生み出す観光客数は、クルーズ乗船客96名、宿泊を伴う旅行者9名に対し、AT旅行者は4名。  
※旅行消費額のうち受入地域に還元される割合は、マストツーリズムの14%に対してATは65%。



**日本の国立公園、そして国立公園満喫プロジェクトが目指す  
上質なツーリズムと親和性が高い**



## <ATWS2023> (アドベンチャートラベルワールドサミット2023)

- 期間：2023年9月11日～14日
- 場所：北海道内（サミットは札幌コンベンションセンター）
- 主催者：Adventure Travel Trade Association (ATTA)
- 参加者：約65カ国からおよそ800名の観光関係者が参加。欧米が中心。



- 会議前に行われたエクスカージョンのうち道内開催15件のうち9件は国立公園において実施。会議初日に行われたエクスカージョン（DOA）も北海道にある5国立公園内で多く実施された。
- 開会式では齊藤国土交通大臣がビデオメッセージでATへの期待とともに、**AT推進への決意**を表明。
- ATTAのシャノン・ストーウェルCEOは「北海道そして日本には、アドベンチャー・トラベル(AT)における3つの重要な要素である**文化、自然、アクティビティがあり、いずれも質が高く、多様性に溢れている**」と、**日本や北海道のポテンシャルを高く評価**。
- オープニングセレモニーではATWS北海道実行委員会会長を務める鈴木直道北海道知事が登壇し、**自然豊かな北海道での開催の意義を強調**。
- JapanLounge内のブースに来場した事業者の83%が、「日本で一番求めているATコンテンツ」として、「国立公園を含む日本の自然の中でのアクティビティ」を挙げており、**ATにおける日本の国立公園への強い期待が明らかになった**。

# アドベンチャートラベル（AT）等に関する政府方針



## ■ 観光立国推進基本計画（令和5年3月31日閣議決定）

第3 観光立国の実現に関し、政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策

2. インバウンド回復戦略（2）消費拡大に効果の高いコンテンツの整備

### ① アドベンチャーツーリズムの推進

自然・文化・アクティビティの構成要素を通じて日本の本質を深く体験できるアドベンチャーツーリズムやアウトドアアクティビティを推進し、国内外の観光旅行者の消費額拡大や満足度向上、安心・安全で楽しめる旅行環境の整備を図る。特に、アドベンチャートラベルワールドサミット2023の北海道開催を契機に、世界の観光旅行者の来訪・滞在を促し、地方部を含めた全国各地における消費機会の拡大につなげる。

## ■ 経済財政運営と改革の基本方針2023（骨太の方針）（令和5年6月16日閣議決定）

第2章 新しい資本主義の加速

2. 投資の拡大と経済社会改革の実行（5）インバウンド戦略の展開

（持続可能な形での観光立国の復活）

訪日外国人旅行消費額5兆円の早期達成に向け、アドベンチャーツーリズム等の特別な体験の提供等の支援、新たな観光コンテンツ創出、文化財等の夜間活用、民間活力等による国立公園・国民公園や公的施設の魅力向上、医療ツーリズムの推進、高付加価値旅行者の誘客の集中的支援、航空便回復・C I Q等の受入環境整備、伝統芸能等における外国人対応の推進、クルーズの再興と拠点形成、観光地へのアクセス向上、消費税免税制度の適正利用の促進、観光外交の推進を含む戦略的なプロモーション、日本酒・焼酎・泡盛等のユネスコ無形文化遺産への早期登録、M I C E誘致・開催、I R整備、アウトバウンド・国際相互交流の拡大等を強力に推進する。

## ■ デフレ完全脱却のための総合経済対策（令和5年11月2日閣議決定）

第2章 経済再生に向けた具体的施策

3. 経済の回復基調の地方への波及及び経済交流の拡大（2）地方活性化

自然、文化、歴史等の資源の活用や移住等の促進による都市と地方の交流拡大等により、地方の活性化に取り組む。

有力な観光コンテンツである国立公園において、ネイチャーポジティブの視点も踏まえ、滞在体験の魅力向上の取組やアドベンチャートラベル等の高付加価値観光を推進する。



【令和5年度補正予算 1,270百万円】

国立公園利用の高付加価値化に向けて、利用拠点の面的な魅力向上に取り組み、滞在型高付加価値観光を推進します。

## 1. 事業目的

インバウンドが本格的に回復する中、国立公園満喫プロジェクトの新たな展開として、民間活用による国立公園利用拠点の面的な魅力向上の取り組みをモデル地域において集中的に実施する。併せて、**感動体験を提供するアドベンチャートラベル(AT)**や廃屋撤去による引き算の景観改善を推進し、滞在型・高付加価値観光の推進を図る。

## 2. 事業内容

国立公園満喫プロジェクトの新たな展開として、国立公園ならではの感動体験を提供する宿泊施設を中心とした利用拠点の面的な魅力向上に取り組む。

具体的には、モデル地域において、直轄事業により民間提案を取り入れながら利用の高付加価値化の基本構想及び利用拠点のマスタープラン等を策定するとともに地域における協働実施体制を構築し、宿泊施設とアクティビティが一体となった高付加価値でサステナブルな利用を推進する。

併せて、構築した協働実施体制も活用しつつ、改正自然公園法に基づく自然体験活動促進計画制度の利用により必要な許可を不要とすることで自然体験アクティビティの更なる促進を図りつつ、当該計画の作成主体となる市町村等に対し、その効果的な運用事例を示すことができるよう、**ATの5つの要素(ユニークさ、自己変革、ウェルネス、挑戦、自然・文化への影響最小化)**や**文化的要素を備えた自然体験を展開していくための事業を自治体、関係省庁と連携して実施**するとともに、利用拠点内に存在する廃屋の撤去による引き算の景観改善を進める。

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 令和5年度

## 4. 事業イメージ



基本構想・利用拠点のマスタープラン策定の検討・策定、地域協働体制の構築、サウンディング調査等



アドベンチャートラベルの展開に向けた地域資源の洗い出し、連携枠組みの構築、体験の磨き上げ等

廃屋撤去による景観改善



- 国立公園の優れた自然環境を活かし、地域や観光事業者等と連携して、国立公園内でアドベンチャートラベル（AT）を展開していく。
- 全国の国立公園等をフィールドとしてATを展開することは、経済対策や地方誘客促進に資するとともに、観光客の分散化につながり、オーバーツーリズム対策の一つにもなりうる。

## 事業イメージ

### ATコンテンツ磨き上げタイプ

- ・ 初期モニターツアー
- ・ 既存コンテンツの高付加価値化に向けた検証
- ・ ストーリー・文化的要素付加など体験内容の改善
- ・ 安全管理水準の向上
- ・ 感動を生むガイドングスキルの整理共有
- ・ 魅力的な情報発信素材の整備
- ・ 販促（ATWS2024、VJTM2024等への参加）
- ・ ATWS参加のバイヤー等を招聘したファムツアー

※両タイプの複合型も可

### AT体制整備タイプ

- ・ 地域資源の再整理
- ・ 観光事業者・自治体等との作業部会
- ・ AT先進事例視察、AT勉強会、人材養成研修
- ・ インナーブランディング
- ・ ATフィールドの情報整備、プロモーション
- ・ ツアーコーディネーター、セラー、バイヤーとの関係構築



### <留意点>

- ・ **国立公園ならではの価値・ストーリーを伝えるものであること**
- ・ ATの5つの要素（ローインパクト、ユニーク、挑戦、ウェルネス、自己変革）を重視
- ・ **文化的要素を可能な限り含めること**
- ・ スポットガイド、スルーガイド、ツアーコーディネーター、セラー、バイヤーとのつながりまで総合的に評価
- ・ 国立公園と関係の深い公園外のコンテンツ（ロングトレイル等）も対象

# (参考) 国立公園のアドベンチャートラベルの好事例

～①アクティビティ、②自然、③文化体験を網羅～



## 吉野熊野国立公園

### 熊野古道トレッキング

石畳の道を、語り部同行でウォーキングして、参詣道の歴史探索をしながら、樹齢800年の夫婦杉と那智の滝など自然の恵みも体感できる。



## 伊勢志摩国立公園

### 海女漁体験プラン

(本物の海女さんと英虞湾を潜ろう!)

海女さんと一緒に、美しい英虞湾に潜り、自然だけでなく海女文化について学び、おいしい海の幸をいただくことで、海と一緒に生活してきたこの地域の営みを体感できる。



## 阿寒摩周国立公園

- ① 釧路川源流カヌーツアー
- ② アトサヌプリトレッキング
- ③ カムイルミナ (アイヌ文化体験)



数千年前の火山活動でできた地形を辿るカヌーやトレッキングで、今も残る活火山の体験や、そこで共生してきたアイヌの文化を一気通貫で体感できる。周辺の知床・釧路湿原国立公園とつなぐ北海道東トレイル構想もある。

## 慶良間諸島国立公園

- ① SUP、ダイビング、シュノーケル
- ② 慶良間ブルーの海、珊瑚礁
- ③ 海との結びつきを表す流れ舟等の神事



地殻変動によって生まれた多種多様な景観を誇る慶良間諸島では、豊かな海洋生態系が形成されており、そこに営む人々も海から多大な恩恵を受けてきた。その結びつきを表す神事が多く、それらを伝えることが良質なアドベンチャートラベルに繋がっていく。